



報道発表資料の配付日時 10月25日(火)15時00分

発表項目 (行事名)	第23回臓器移植推進国民大会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>毎年10月は、「臓器移植普及推進月間」です。この間の主要行事の1つとして、臓器移植推進国民大会を開催しており、本年は、10月29日(土)に、本道において開催します。(WEB視聴方式による開催)</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 日時 令和4年(2022年)10月29日(土) 13:30~16:10 2. 主催 厚生労働省、北海道、(公社)日本臓器移植ネットワーク (公財)日本腎臓財団、(公財)北海道移植医療推進財団 3. 場所 ウィステリアホールB1(札幌市中央区南1条西17丁目) 4. 内容 別紙のとおり</p>		
参考	臓器移植についての理解を深めるとともに、臓器移植に関する意思表示をしていただくよう呼びかけること等により、我が国における臓器移植の一層の定着及び推進を図る目的で開催され、北海道では、第1回以来、23年ぶりの開催である。		

報道(取材)に当たってのお願い	<p>会場の報道関係者席を準備するため、取材をご希望の場合は、10月27日(木)15時までに、下記担当者までご連絡をお願いします。</p> <p>ウィステリアピルの駐車場は利用できないため、公共交通機関又は近隣の駐車場をご利用下さい。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	医務薬務課課長補佐 吉田 隆之 TEL 011-204-5265 (内線25-316) FAX 011-232-4108		
-------------	---	--	--

つなぐれ、いのちに。
 つなぐれ、希望に。
 つなぐれ、幸せに。
 つなぐれ、未来に。
 つなぐれ、わたしの意思。



皆様の参加が移植医療の未来を創る！

道内
高校書道部が
大会スローガンを
書き下ろし！

看護学生を交え
移植医療に
ついての
トークセッションも

▼ 全国どこからでも視聴可能です！ ▼

第23回 臓器移植推進国民大会

2022.10.29 Sat [13:30~16:10]

主催／厚生労働省、北海道、(公社)日本臓器移植ネットワーク、
 (公財)日本腎臓財団、(公財)北海道移植医療推進財団

後援／(公社)日本医師会、(公社)日本透析医学会、文部科学省、日本放送協会、(一社)日本民間放送連盟、(一社)日本新聞協会、(公社)ACジャパン、(公財)健康・体力づくり事業財団、(公社)日本看護協会、(一社)全国腎臓病協議会、(一社)日本腎臓学会、(一社)日本透析医学会、(一社)日本移植学会、(公財)日本アイバンク協会、NPO法人日本移植者協議会、北海道教育委員会、(一社)北海道医師会、(一社)北海道歯科医師会、(一社)北海道薬剤師会、(公社)北海道看護協会、北海道赤十字血液センター、北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、旭川医科大学病院、北海道医療大学、北海道科学大学、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、北海道新聞社、朝日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、(株)北海道医療新聞社、(一社)共同通信社札幌支社、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ、TVhテレビ北海道、UHB北海道文化放送、AIR-G* FM北海道、FMノースウェーブ

多くの方が本大会を視聴することで
 移植医療の社会への理解につながります。



WEB配信は
 こちらから

視聴
 無料

大会の詳細はこちらの二次元バーコードでご覧いただけます。

※一般の方は入場できませんので、WEBでご視聴ください。
 ※エントリー不要、当日のみの配信となります。

臓器提供の意思表示に
 ご協力ください。

臓器提供に関する意思は、健康保険証・運転免許証・マイナンバーカードの意思表示欄、臓器提供意思表示カードに記入・携帯するか、インターネットで登録しましょう。

JOT 日本臓器移植ネットワーク
 いのち、つなぐ。

臓器移植に関するお問い合わせ先 0120-78-1069 www.jotnw.or.jp

臓器移植 臓器提供



プログラム

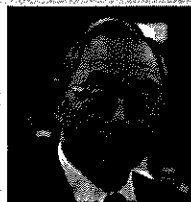
13:30 開会・主催者挨拶 厚生労働省、北海道、(公社)日本臓器移植ネットワーク、
 14:05 厚生労働大臣感謝状贈呈式 (公財)日本腎臓財団、(公財)北海道移植医療推進財団

14:05 休憩

基調講演

命の贈りもの 一移植法案は改正されたがー

14:20
15:10



演者 聖マリア病院研究所 所長 聖マリア学院大学大学院 教授 藤堂 省先生
 座長 北海道大学病院 臓器移植医療部 嶋村 剛先生
 九州大学医学部を卒業後、同第一外科入局。ピッツバーグ大学外科教授、北海道大学医学部第一外科教授を勤めた後、現在に至る。現北海道大学名誉教授。令和4年に、2022 Thomas E. Starzl Prize in Surgery & Immunologyを受賞。専門は肝臓外科、肝臓移植、移植外科、消化器外科、小腸移植。

救急領域における選択肢としての臓器提供



演者 北海道大学病院 救急科 科長(准教授) 早川 峰司先生
 北海道大学医学部を卒業。市立札幌病院 救命救急センターに勤めた後、北海道大学病院 救急科へ。妻と子供7人の9人家族。

15:10 休憩

トークセッション

テーマ みんなで考える、臓器提供・移植医療

あなたの参加が移植医療の未来を創る。臓器移植を受けた方の思い、臓器提供を決断されたご家族の思いなど、臓器移植にはいるいるな思いや考えがあります。自分や家族の事を考えるきっかけとして、ぜひご視聴ください。

トークセッション出演予定者

15:20
16:10

司会



皆さんの疑問を教えてください。

北海道大学病院 臓器移植医療部 部長・診療教授 嶋村 剛先生
 北海道大学医学部を卒業。現在、生体肝移植のほか、北海道で唯一の脳死肝移植、脳死肺移植、脳死小腸移植の認定施設実施責任者として診療に従事。



移植医療について話し合しましょう!

はらだ腎臓移植クリニック 院長 原田 浩先生
 北海道大学医学部を卒業。市立札幌病院で腎移植を担当。理事を勤めたあと、現在の腎移植フォーラムアップクリニックを開院し現在に至る。



私の仕事を紹介します。

北海道臓器移植コーディネーター 高橋 美香先生
 公益財団法人 北海道移植医療推進財団に所属。北海道臓器移植コーディネーター兼組織移植コーディネーター。

参加者 学校でみんなと話し合いました。 大会のために作品を作りました!



札幌医科大学保健医療学部 看護学科 伊藤 さやか氏 矢部 珠羽氏



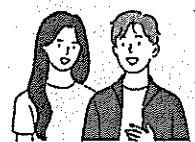
市立札幌開成 中等教育学校 書道部の皆さま

家族の思いを伝えます。



臓器提供をされた方ご家族

元気になって、日常が変わりました!



臓器移植を受けた方ご家族

16:10 閉会

視聴方法

当日は無料WEB配信いたしますので、右記を検索し、ご視聴ください。



PCから視聴する場合

臓器移植推進国民大会 検索



スマホ・タブレットから視聴する場合



※一般の方は入場できませんので、WEBでご視聴ください。



グリーンリボンキャンペーンとは

グリーンリボンは、世界的な移植医療のシンボルです。グリーンは成長と新しいのちを意味し、「Gift of life」(いのちの贈りもの)によって結ばれた臓器提供者(ドナー)と移植が必要な患者さん(レシピエント)のいのちのつながりを表現しています。(公社)日本臓器移植ネットワークをはじめとする関連団体では、より多くの人に移植医療について理解してもらうため、毎年10月の臓器移植普及推進月間を中心に、グリーンリボンキャンペーンを展開しています。臓器を提供してもいいという人と移植を受けた人が結ばれ、よりたくさんいのちが救われる社会を目指しています。